

オホーツク「木」のフェスティバルで活動PR

オホーツク管内で行われる「木」に関するイベントに、今回も常呂川森林ふれあい推進センターが出展しました。

今回のテーマは「木の温もりに、やすらぎを求めて」と題し、5月16～18日までの期間で、北見市のサンライフ北見等で開催されました。3日間の入場者数は3万2千人ほどで、初日は石北峠でも降雪があるほどの寒雨となるなど寒さが響いたのか、昨年より13%下回りました。

そのような中でしたが、当ふれあいセンターのブースには大勢の家族連れなどが寄ってきてくれました。というのも、森林ボランティア「オホーツクの会」の会員の方々や日本赤十字北海道看護大学の学生さんなどのお手伝いもある中、定番のタネの模型づくりや竹とんぼづくり、また、今回新たに、松ぼっくりを利用したクラフトづくりもあり、その他に、北見事務所からもネームプレート作りなどにより、たくさんの人を呼び込むことができました。



今年は「WOOD JOB! 神去なあなあ日常」の映画が上映され、マスコミにも林業が取り上げられるなど、森林・林業にスポットが当たっており、その中で、今回のフェスティバルが少しでも森林の重要性をPRすることができたらと思います。

また今後、常呂川森林ふれあい推進センターでは、様々なイベント等を用意していますので、森林浴も兼ねてぜひ応募していただきたいと思っています。